



国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

国土交通省

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和3年10月8日

令和元年東日本台風（台風第19号）から2年 緊急治水対策プロジェクトの現在の状況について

信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して令和2年1月31日に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」のとりまとめを行いました。

関係機関は、同プロジェクトに基づき、令和9年度完了を目指し鋭意対策を進めておりますが、災害から2年となることから、現在までの取組みや工事の進捗について、別紙のとおりお知らせします。

令和3年2月より、洪水時の水位低下を行うため立ヶ花及び戸狩狭窄部の河道掘削に着手しており、令和3年度も引き続き狭窄部区間を含めた河道掘削を実施する他、堤防強化（粘り強い河川堤防構造など）の整備を進めてまいります。

整備の進め方については、引き続き地域の皆様・関係機関と調整を図りながら進めることとしています。

信濃川水系（千曲川）緊急治水対策プロジェクトの詳細はこちら

→ <https://chikuma-kinkyu.com/>

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野市政記者会
- ・その他 専門誌

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長 谷口 和哉（たにぐち かずや）

千曲川河川事務所 twitter

検索

クリック

https://twitter.com/mlit_chikuma

千曲川河川事務所

検索

クリック

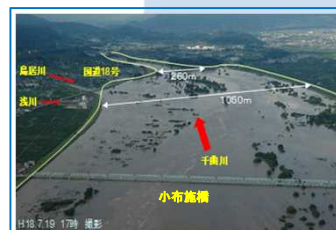
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化（粘り強い河川堤防構造）
- 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削（大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削）
- 上流で洪水を貯留するダム（大町ダム等再編）や遊水地の整備

といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じる。



立ヶ花狭窄部掘削



堤防強化(粘り強い河川堤防)



大町ダム等再編事業

黒沢川遊水地

千曲川上流遊水地



大河津分水路改修事業



信濃川中流遊水地群



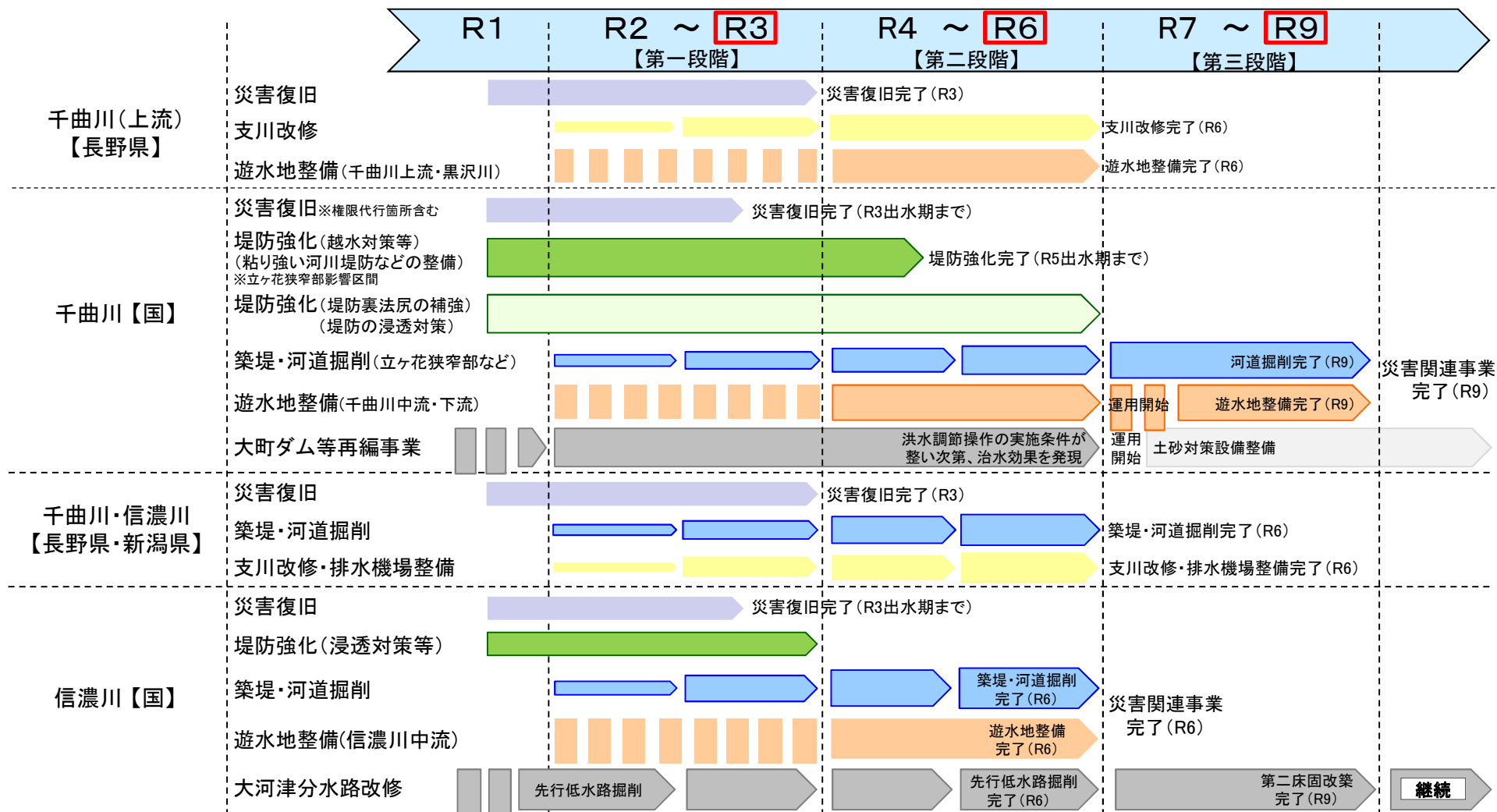
千曲川下流遊水地群



千曲川中流遊水地群

凡 例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要地点
	想定氾濫区域(国管理区間)
	大臣管理区間

- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了

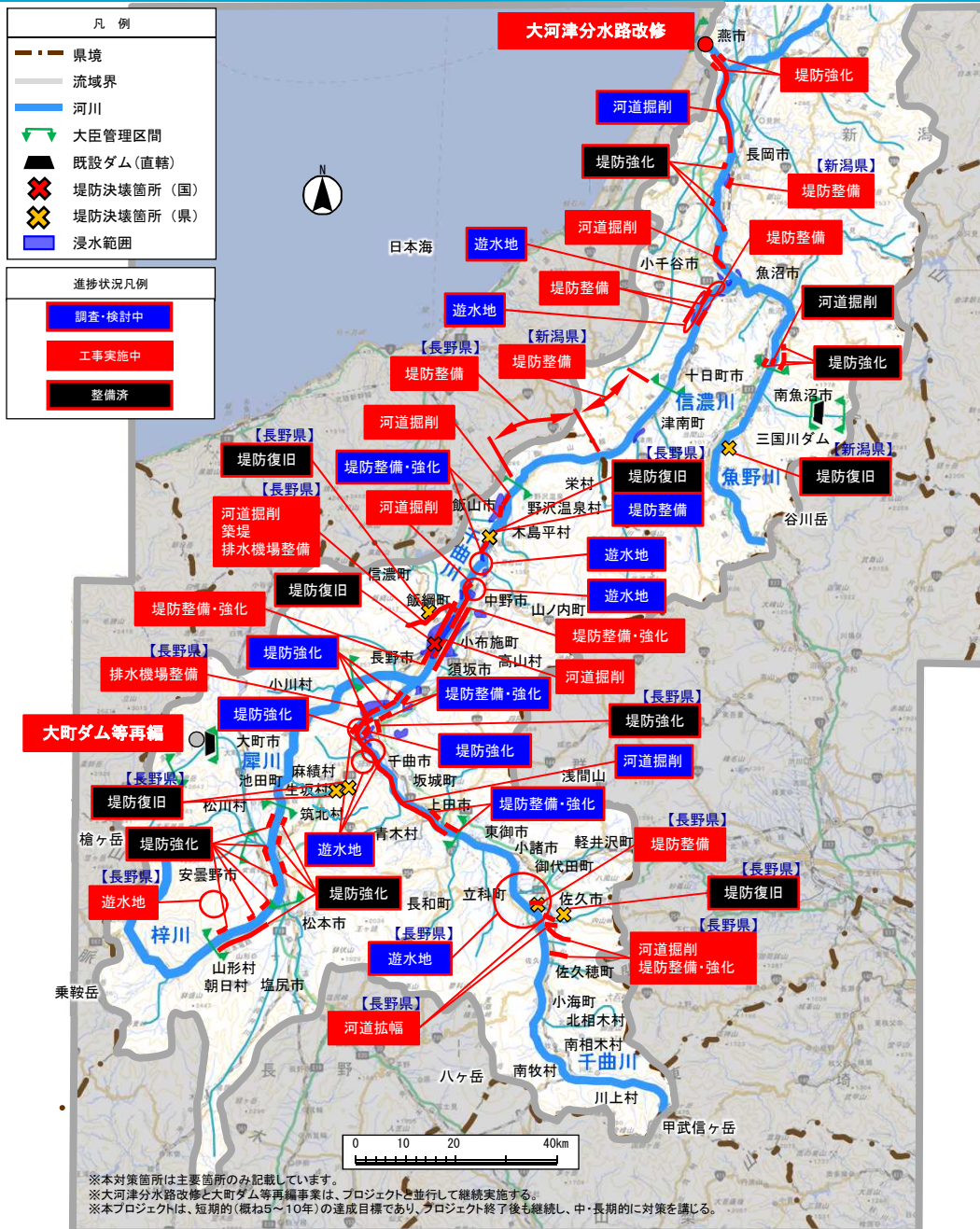


～みんなでつなぐしなのの川～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

河川対策状況(R3.9末時点)

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進



○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「**信濃川水系緊急治水対策プロジェクト**」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指します。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
- ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和3年度は、引き続き上下流バランスを踏まえた、全川での河道掘削等の改良復旧、ため池・田んぼダム等既存施設の有効利用（流域対策）、マイタイムラインの普及（ソフト施策）を実施予定

■河川における対策

全体事業費 約1,866億円【国：約1,227億円、県：約639億円】

災害復旧 約586億円【国：約214億円、県：約372億円】

改良復旧 約1,280億円【国：約1,013億円、県：約267億円】

事業期間 令和元年度～令和9年度

目 標 【令和6年度まで】

- 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
- ・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水を防止
- ・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止

【令和9年度まで】

- 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
- ・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

※県の改良復旧事業等の新規事業採択により事業費が追加されました。
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況



新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

災害復旧状況(直轄管理区間)について

R3.9末時点

- 令和元年東日本台風により、千曲川(直轄管理区間)では、穂保地区の決壊をはじめ、25箇所が被災。
- 令和2年6月末には、穂保地区、篠ノ井塩崎地区をはじめとする越水による被災5箇所及び堤防欠損箇所である諏訪形地区において、復旧工事を実施し、一定の治水安全度を確保。
- 直轄管理区間25箇所については、令和3年6月までに復旧を完了。

位置図



①長野市穂保地先



- 復旧区間延長L=560mの堤防復旧、堤防強化が完了。
- 引き続き立ヶ花～村山橋間の堤防強化を実施中。

②長野市篠ノ井塩崎地先



- 復旧区間延長L=688mの堤防復旧、川表側の補強及び天端補強工が完了。
- 引き続き堤防強化を実施中。

③上田市諏訪形地先



- 復旧区間延長L=460mの堤防復旧、堤防護岸が完了。

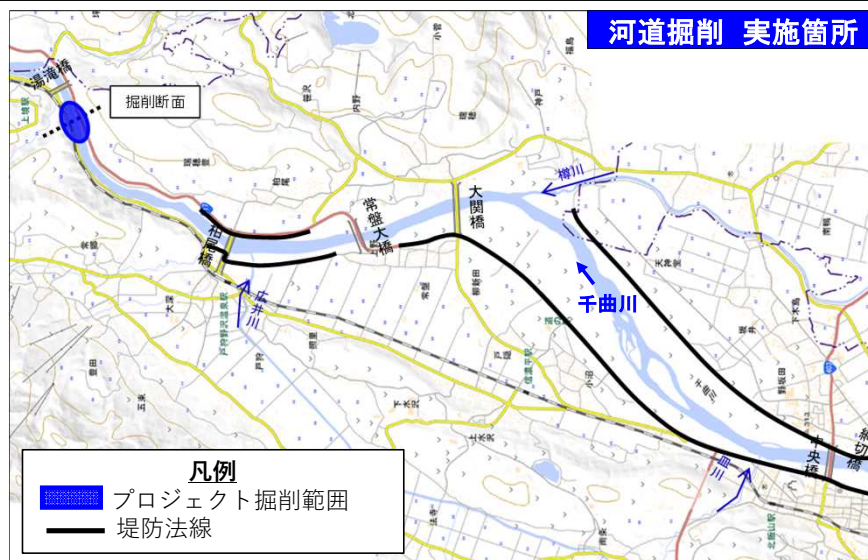
市町村名	箇所数	河川名	箇所名
中野市	1	千曲川	栗林
小布施町	1	千曲川	大島
長野市	4	千曲川	穂保、穂保、篠ノ井横田、篠ノ井塩崎
	2	犀川	若穂牛島、四ツ屋
千曲市	7	千曲川	雨宮、野高場、千本柳、上徳間、上山田温泉、三本木、力石
坂城町	3	千曲川	網掛、南条、鼠宿
上田市	5	千曲川	中之条、御所、諏訪形、国分、国分
安曇野市	2	犀川	南陸郷、南穂高
計 25箇所			

○信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○令和3年2月22日よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削を開始しました。今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。

○信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。

○信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和6年度まで河道掘削（戸狩狭窄部）を実施する予定としています。



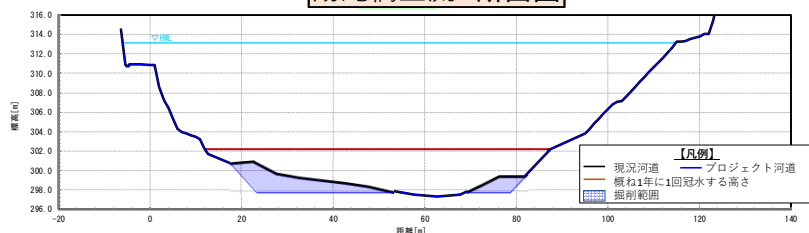
河道掘削 実施状況



進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約3%

湯滝橋上流 断面図



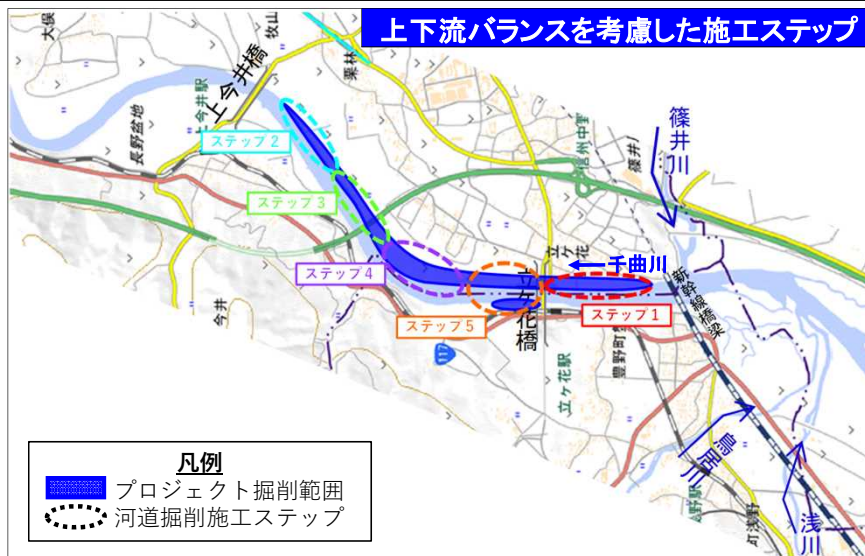
今後台船掘削による掘削を想定(例)【現在準備中】

○信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○令和3年2月22日よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削を開始しました。今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。

○信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。

○信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削（立ヶ花狭窄部）を実施する予定としています。



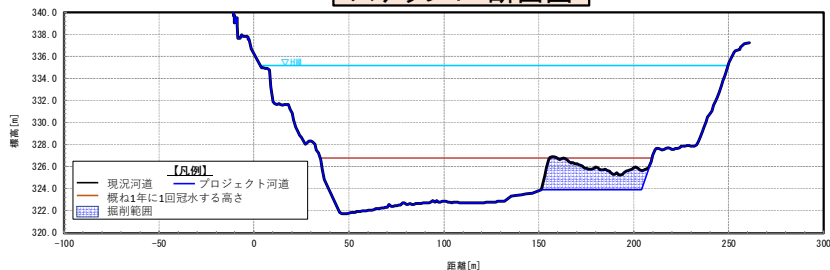
河道掘削 実施状況 ※ステップ1実施中



進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約5%

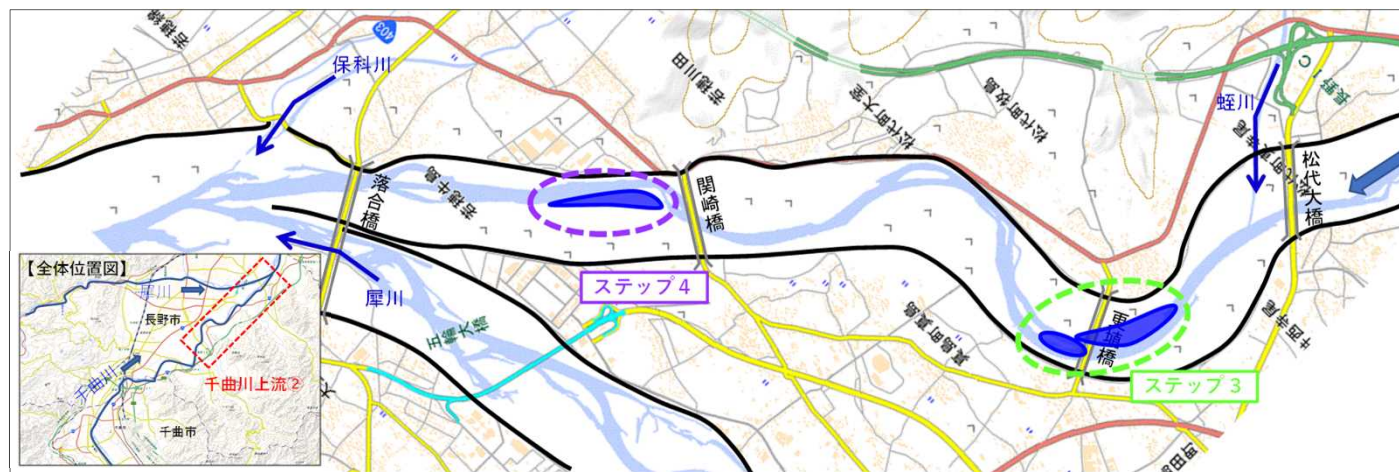
ステップ1 断面図



掘削作業状況

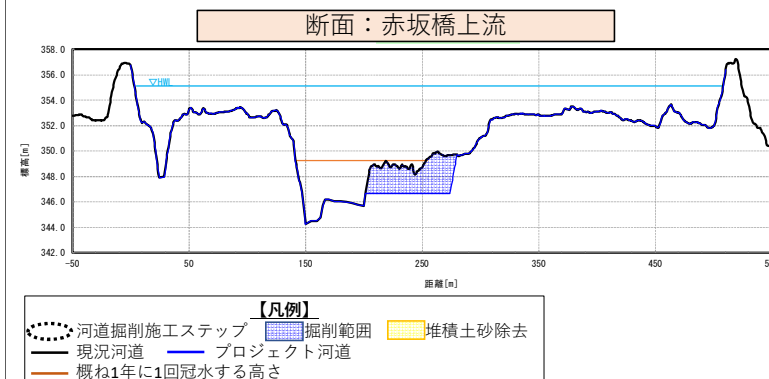
- 信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削を実施する予定としています。

河道掘削 実施箇所



進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約3%



河道掘削実施状況 ※ステップ1実施中



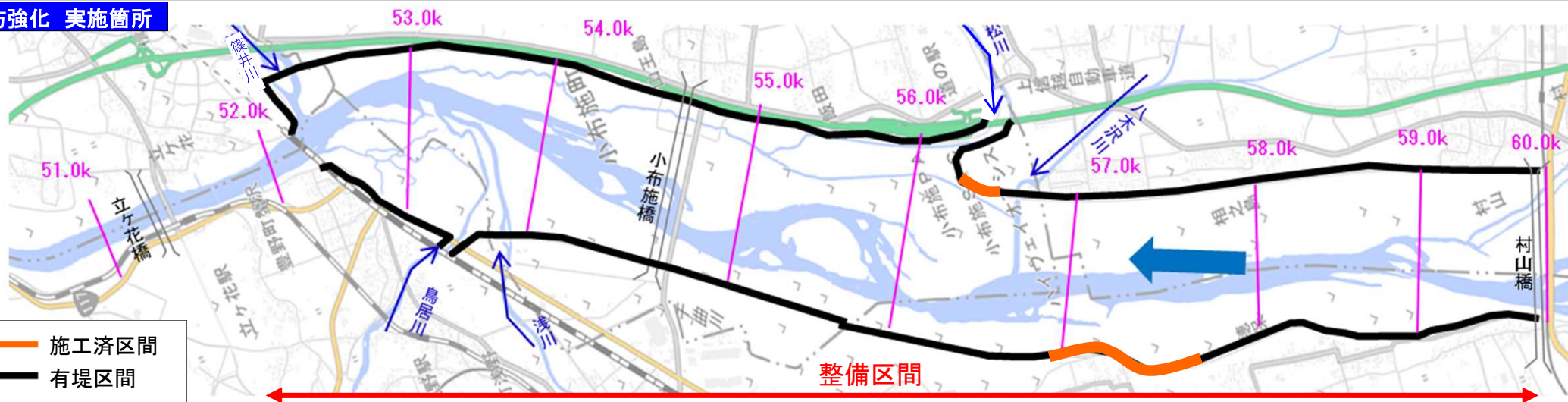
長野県中野市・長野・須坂市・小布施町：堤防強化（立ヶ花～村山橋：左右岸）の進捗状況について

○信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施しています。

○令和5年度の出水期までに整備を完了させる予定としています。

堤防強化 実施箇所



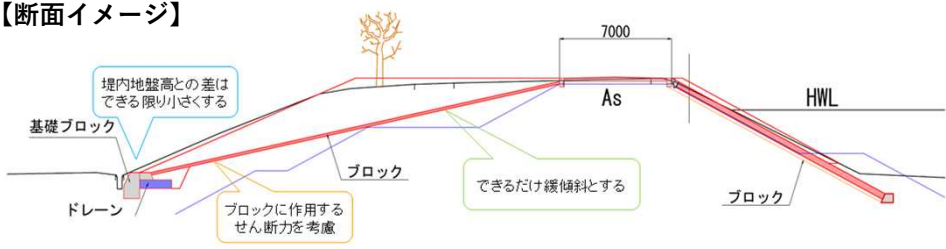
位置図



進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約4%

【断面イメージ】



堤防強化 実施状況



○信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○洪水時の水位を低下させるため、河道掘削と併せて、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。

○地元説明会等を実施し、用地調査等に着手しています。引き続き、地域の意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。

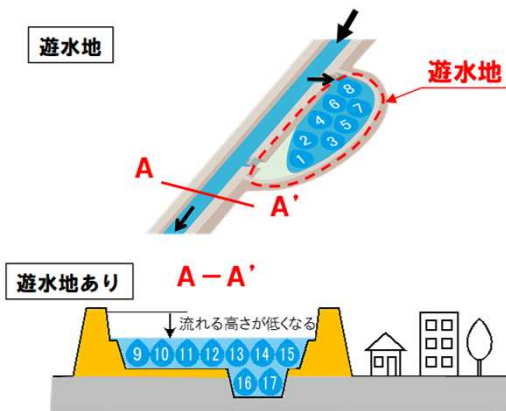
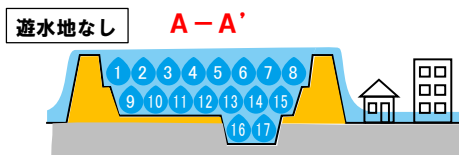
○令和6年度までに整備を完了させる予定としています。

進捗状況(R3. 9月末時点)

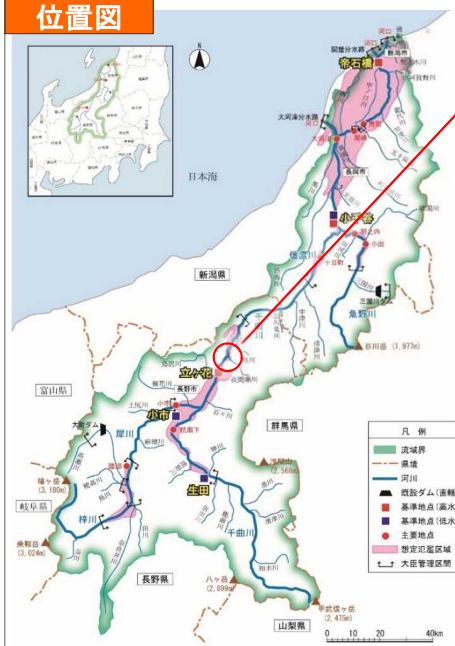
- ・用地調査中
- ・設計中

○遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためる施設です。

○遊水地で水をためることによって下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果があります。



位置図



蓮遊水地



進捗状況



地元説明会



用地調査



環境調査

○信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○洪水時の水位を低下させるため、河道掘削と併せて、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。

○地元説明会等を実施し、用地調査等に着手しています。引き続き、地域の意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。

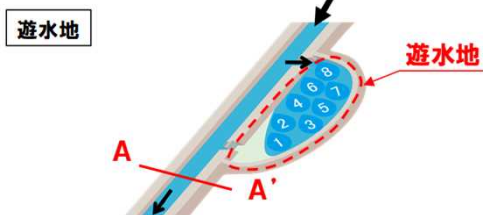
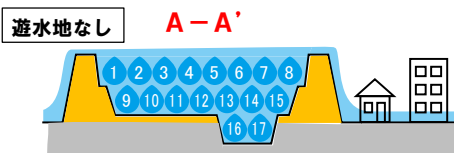
○令和9年度までに整備を完了させる予定としています。

進捗状況(R3. 9月末時点)

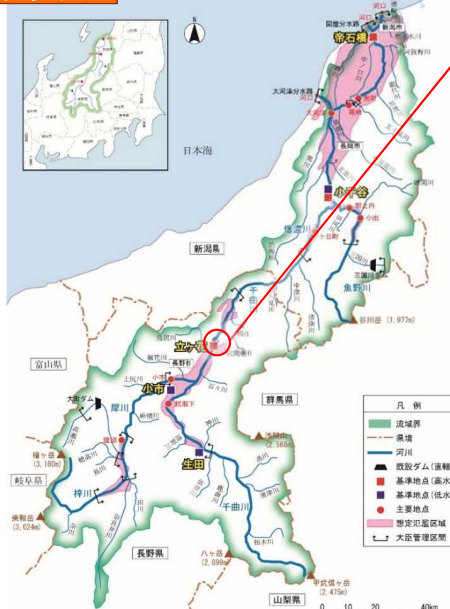
- ・用地調査中
- ・設計中

○遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためる施設です。

○遊水地で水をためることによって下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果があります。



位置図



上今井遊水地



進捗状況



地元説明会



用地調査



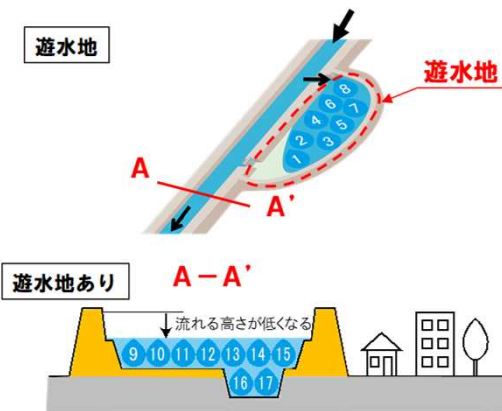
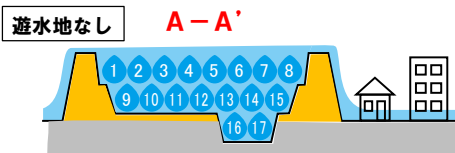
環境調査

- 信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 洪水時の水位を低下させるため、河道掘削と併せて、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。
- 地元説明会等を実施し、環境調査等に着手しています。引き続き、地域の意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。
- 令和8年度までに整備を完了させる予定としています。

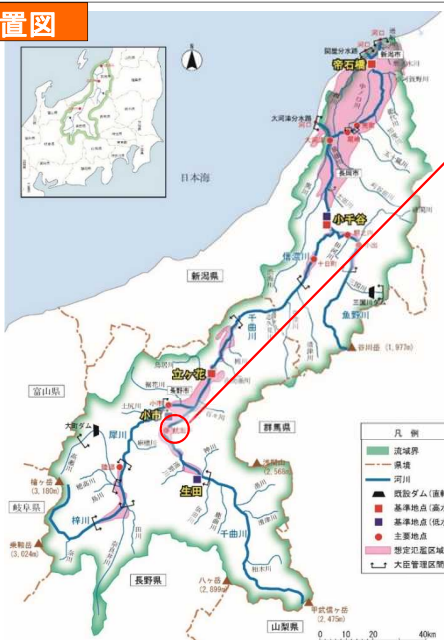
進捗状況(R3. 9月末時点)

設計中

- 遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためる施設です。
- 遊水地で水をためることによって下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果があります。



位置図



塩崎遊水地



※整備予定範囲

進捗状況



地元説明会



環境調査



環境調査

○信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○洪水時の水位を低下させるため、河道掘削と併せて、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。

○地元説明会等を実施し、用地調査等に着手しています。引き続き、地域の意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。

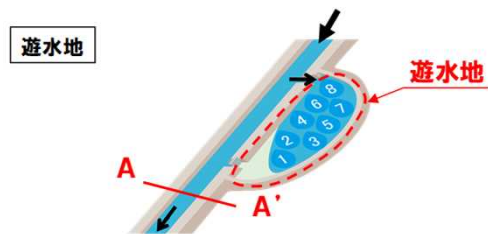
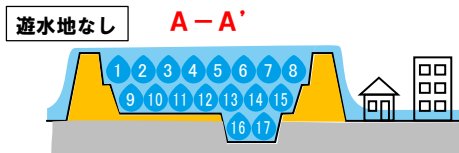
○令和6年度までに整備を完了させる予定としています。

進捗状況(R3. 9月末時点)

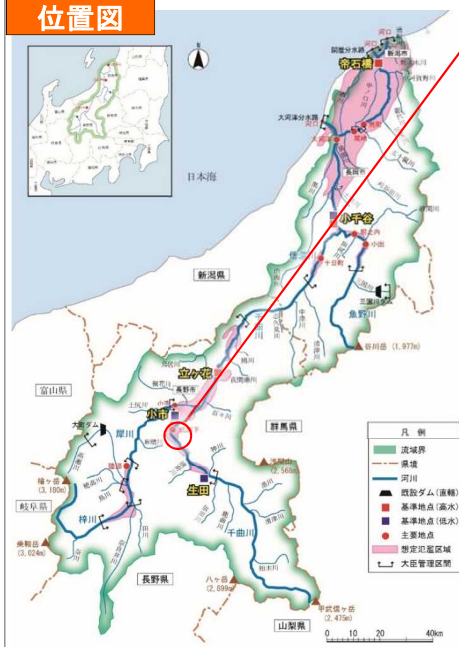
- ・用地調査中
- ・設計中

○遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためる施設です。

○遊水地で水をためることによって下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果があります。



位置図



埴生遊水地



進捗状況



地元説明会



用地調査



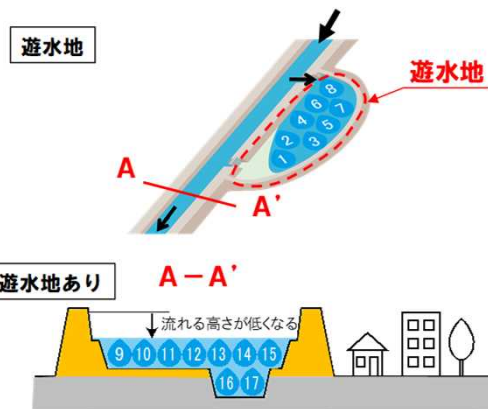
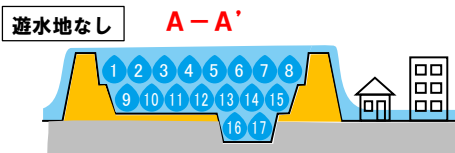
環境調査

- 信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 洪水時の水位を低下させるため、河道掘削と併せて、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。
- 地元説明会等を実施し、用地調査等に着手しています。引き続き、地域の意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。
- 令和6年度までに整備を完了させる予定としています。

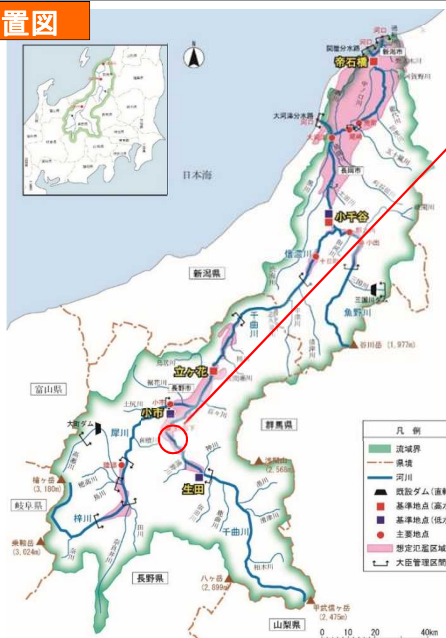
進捗状況(R3. 9月末時点)

- ・用地調査中
- ・設計中

- 遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためる施設です。
- 遊水地で水をためることによって下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果があります。



位置図



平和橋遊水地



※整備予定範囲

進捗状況



地元説明会



用地調査



環境調査

<千曲川・犀川 流域>

まちづくり、ソフト対策の取り組み ～減災に向けた更なる取組の推進～

流域全体で行う「流域治水」への転換に関する取り組み【流域における対策】

- あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換するため、令和3年3月に信濃川水系流域治水協議会を設置し、信濃川水系流域治水プロジェクトを策定。
- 信濃川水系流域治水プロジェクトについて、ハード・ソフト一体で多層的に取り組むため、大規模氾濫減災協議会の取組方針に位置づけ、流域全体で取組を推進。



減災対策協議会/流域治水協議会の開催状況



「流域治水」の施策イメージ



立ヶ花狭窄部の河道掘削



大町ダム再編事業



ため池を活用した雨水貯留



県有施設での雨水貯留タンク設置

長沼地区河川防災ステーション【流域における対策】

- 洪水等発生時の河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動の拠点として「長沼地区河川防災ステーション」を国と市で計画。
- 令和3年度より「長沼地区河川防災ステーション整備」に着手し、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図る。
- 平常時の利活用等の詳細については、今後地域住民の意見を踏まえて長野市と連携し、検討していく。



- <平常時>**
- 地域のコミュニティ・スペースとして活用
 - 水防活動の訓練などに利用
 - 防災学習の場や川の情報発信拠点として水防センターを活用
 - 市と連携したその他の取組み



登録促進・確認書調印式を実施（令和3年4月16日）



- <災害時>**
- 被災箇所の復旧工事の材料備蓄
 - 排水ポンプ車など災害対策車輛、防災ヘリの拠点
 - 水防活動の拠点（水防団）

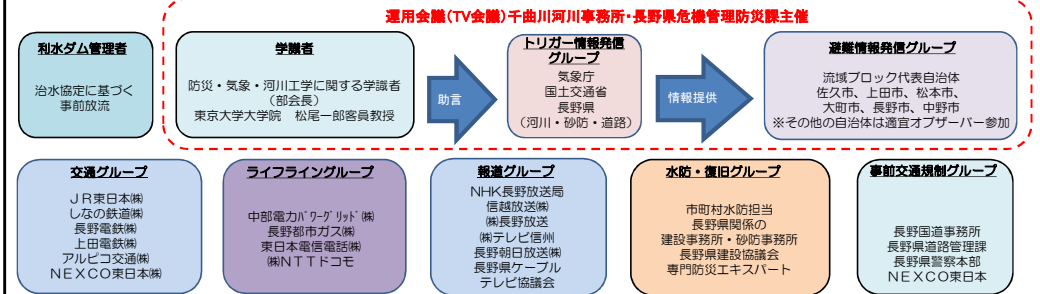


長沼地区河川防災ステーション：イメージ図

流域タイムラインに関する取り組み【ソフト対策】

【流域タイムラインとは…流域の関係機関と危機感を共有し、住民に対して早めの避難行動を促進するもの】

- 千曲川流域に注目した「千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムライン」を関係機関と検討しており、令和2年9月より試行運用開始。
- 台風等の接近状況や河川水位の状況に応じて流域警戒ステージⅠ～Ⅳを設定し、流域全体で危機感を共有する体制を構築。



新たに設定される流域警戒ステージ

時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意識した防災対応を実施する

<流域タイムライン運用会議 これまでの実績>

- R3.8.12～8.17（前線性降雨） 流域警戒ステージⅡ～Ⅳへの移行を決定
- 上記に加え、R2.9.23から数えて延べ9回、運用会議を実施



流域タイムライン運用会議の実施状況

コミュニティタイムライン策定の検討を開始【ソフト対策】

【コミュニティタイムラインとは…国、自治体、地域住民の協働で作成する、地域単位での避難行動計画】

- 令和元年東日本台風による被災からちょうど1年となる令和2年10月13日、策定に向けた検討のキックオフとして、長野市長沼地区にて座談会を実施。令和3年7月20日までに計8回座談会を行い、コミュニティタイムラインをとりまとめた。
- 今後は、他地区でも策定に向けた検討を進めていく予定。



座談会の実施状況（令和3年6月15日）

マイ・タイムラインに関する取り組み【ソフト対策】

【マイ・タイムラインとは…自分自身がとる避難行動計画を整理したもの】

<千曲川河川事務所での取り組み>

- 自治体職員及び住民向けの講習会を実施することでマイ・タイムラインの作成を支援
- 令和3年度は、坂城町で住民向け講習会を実施。今後は、他地区において自治体職員及び住民向け講習会を実施する予定

<流域自治体での取り組み>

- 流域の自治体（中野市、長野市、安曇野市等）では独自のマイ・タイムライン作成の取り組みが行われている。



坂城町住民向け講習会（令和3年7月11日）

既存ダムの更なる洪水調節機能強化に向けた取り組みを推進

R3.9末時点

○河川管理者である国土交通省と利水ダム管理者等との間において、事前放流に関する協定を信濃川水系(上流部)にある30の利水ダム等と令和2年5月29日に締結し、令和2年度の出水期より運用を開始。

○信濃川水系(上流部)では、水害対策のために使える容量の割合※がそれまでの20.0%から、締結後に88.6%へと向上。

○令和3年5月の流域治水関連法の公布(令和3年7月施行)により「信濃川水系(上流部)ダム洪水調節機能協議会」を令和3年10月8日に設置。

■信濃川水系(上流部)ダム洪水調節機能協議会

【対象ダム】

大町ダム、湯川ダム、裾花ダム、奥裾花ダム、奈良井ダム、古谷ダム、内村ダム、豊丘ダム、小仁熊ダム、余地ダム、金原ダム、北山ダム、水上ダム、浅川ダム、高瀬ダム、奈川渡ダム、菅平ダム、稲核ダム、七倉ダム、水殿ダム、水内ダム、平ダム、小田切ダム、生坂ダム、笹平ダム、セバ谷ダム、湯の瀬ダム、南相木ダム、戸隠水源池、香坂ダム

【構成員】

河川管理者

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所、国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

関係都道府県知事

長野県 建設部 河川課

関係利水者

長野県 農政部、長野県 環境部、長野県 企業局、長野市、松本市、上田市、須坂市、佐久市、東御市、佐久穂町、麻績村、筑北村、高瀬広域水道企業団、長野県神川沿岸土地改良区、東京電力リニューアブルパワー(株)(松本事業所、高瀬川事業所、犀川事業所、渋川事業所)

関係行政機関

長野地方気象台

【オブザーバー】

関係行政機関

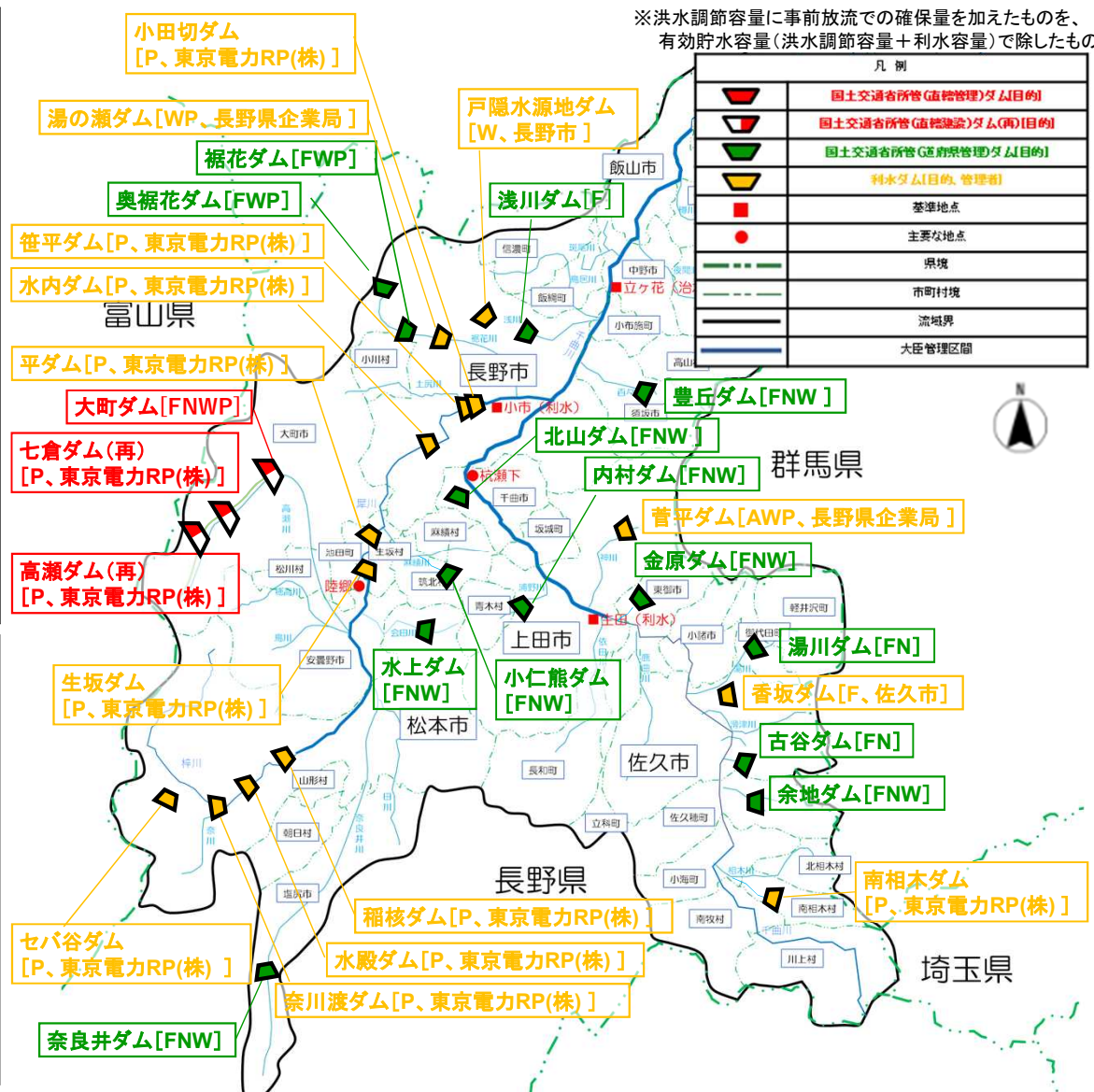
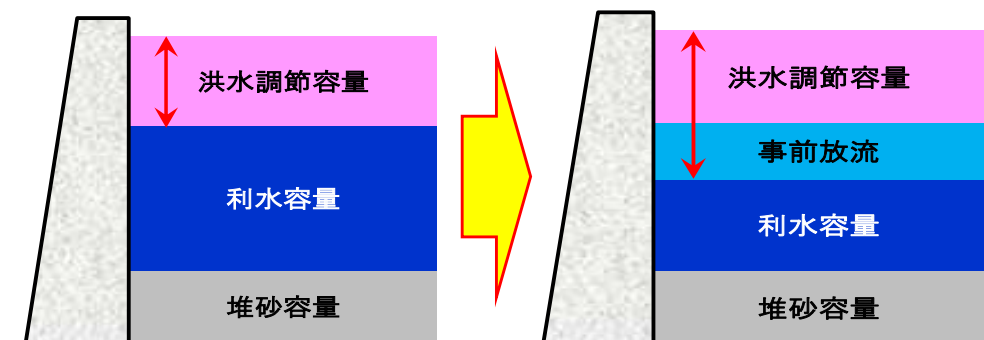
農林水産省 関東農政局 農村振興部

関係市町村

41市町村

■事前放流とは

洪水発生前に大雨に備えて利水容量の一部を事前に放流し洪水調節のための容量として活用



信濃川水系犀川における河川改修事業及び犀川上流ダム群による治水効果

R3.9末時点

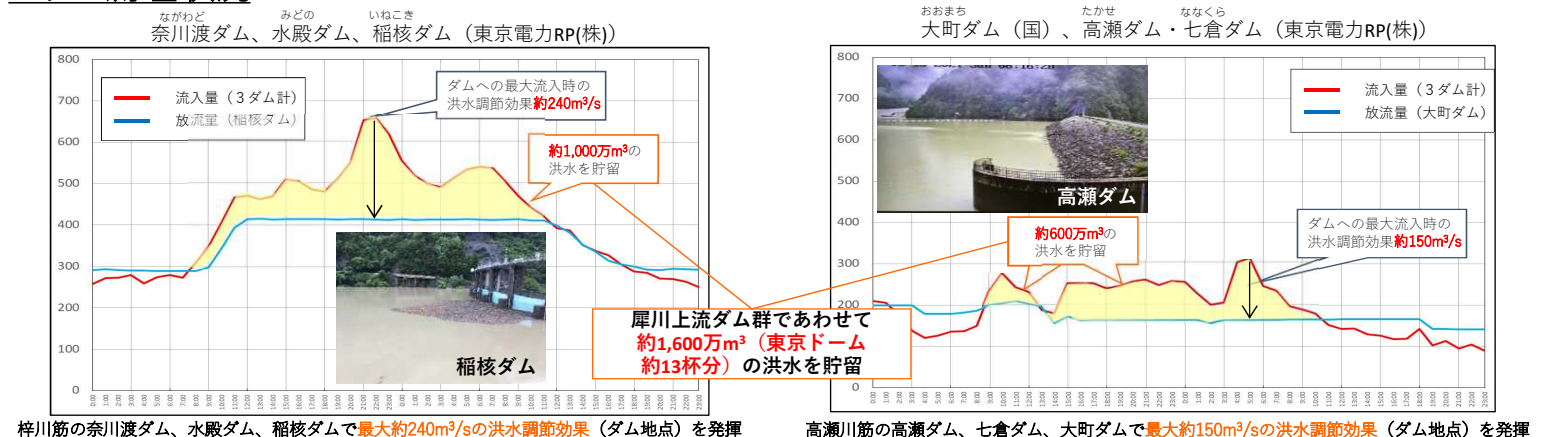
○信濃川水系犀川では、令和3年8月13日から大雨により、中堀沢観測所において総雨量481mmを観測、陸郷地点（長野県生坂村）において、氾濫危険水位を超過（観測史上第4位）する洪水を記録。

○近年の堤防整備（安曇野市荻原地区（H29完成））を実施したことや、利水ダムを含めたダムの事前放流、大町ダム（多目的、国）、奈川渡ダムなど5つの利水ダム（東京電力）の連携したダム操作※により、水位を約30cm低減させ、氾濫を回避。

■位置図



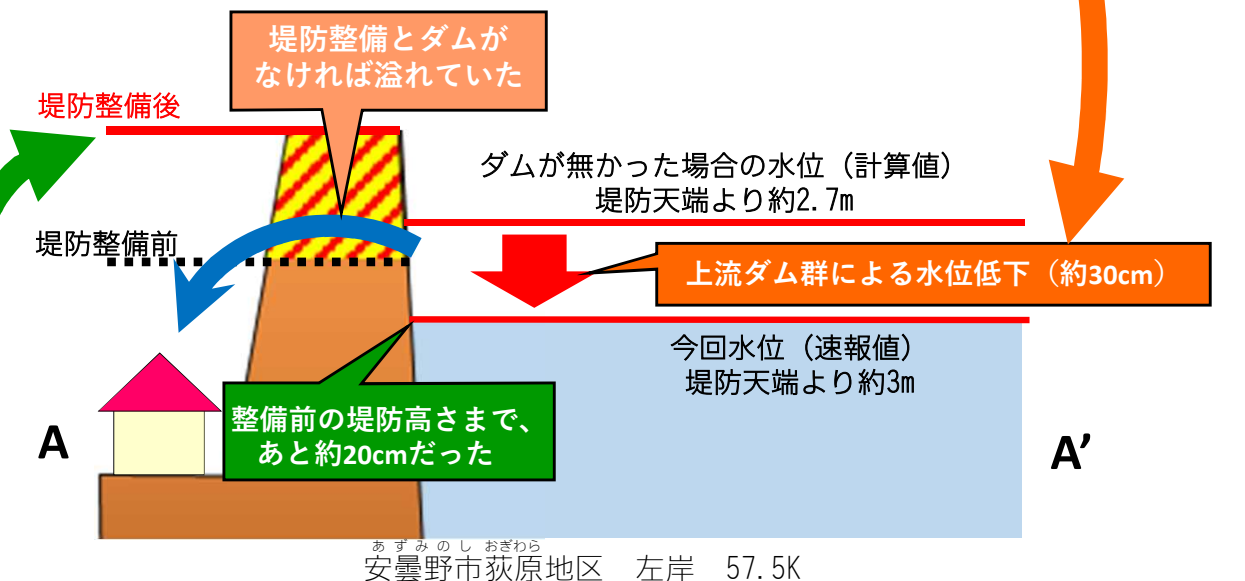
■ダム貯留状況



■近年実施した河川改修事業



■河川改修事業と上流ダム群による治水効果



※本資料の数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。